

予算決算委員会審査報告

平成25年度決算審査

予算決算委員会では、9月16日に総務文教分科会、9月17日に環境福祉分科会、9月18日に建設産業分科会を開催し、平成25年度決算の審査を行いました。その中であった質疑応答の一部を紹介します。



環境福祉分科会の様子

総務文教分科会

●災害対策費

委員 ゲリラ豪雨について市民の啓発等に取り組んでいるのか。

市 現在、地域防災教室で津波対策に加えゲリラ豪雨の対策も行っているが、今後もさらなる啓発に取り組みたい。

●定住促進事業

委員 空き家バンクに登録できるような家屋について今後どのように取り組んでいくのか。

市 市民への聞き取りを行い、バンクへの登録につなげたい。

●公共用地取得事業特別会計

委員 今後、土地開発公社の問題が解決されれば、この会計はなくなるのか。

市 公社の健全化だけでなく、大規模な道路工事の際の早めの用地取得等のためにも有用なので残る可能性が高いと考えている。

委員 この会計は公社の代わりになるものなのか。

市 用地の取得に関してはそうだが、土地の造成等に関しては別の会計である。

環境福祉分科会

●「食」の自立支援事業

委員 現在飛島のみで行っているが、今後、ほかの島しょ部、陸地にも拡大させていく考えはあるのか。

市 食の提供のほか、高齢者の安否確認等にも有効なので、検討したい。

●こども発達支援センター運営委託料

委員 当市からの利用が2名のみとなっているが、今後どうするのか。

市 本市では紹介窓口が限られるなど、市民にとっては使いづらい現状であるが、今後構成市町間で利用について協議していきたい。

●電気自動車用急速充電器設置工事

委員 現在道の駅では無料で利用できるが、今後どうするのか。

市 まずは電気自動車の普及が目的であるが、今後の料金体系については市内の業者に合わせていきたい。

建設産業分科会

●災害復旧費

委員 県道神島外浦線の神島大橋の西側土砂崩れの復旧状況をたずねる。

市 管轄である備中県民局に確認したところ、用地買収の交渉に時間がかかっており、交渉が済み次第、工事を発注し、早めの供用開始に取り組む計画との返答があった。

●道の駅活性化事業

委員 来場者数の報告はあるが経済的な波及効果は積算されているのか。

市 経済的な波及効果の具体的な数値は確認が取れておらず、今後検討したい。

●水道事業会計

委員 平成24年度からの有収率(有収水量を給水量で除したもの)低下について、原因をたずねる。

市 大規模な漏水事故が平成24年度で4件、昨年度で9件発生したためである。